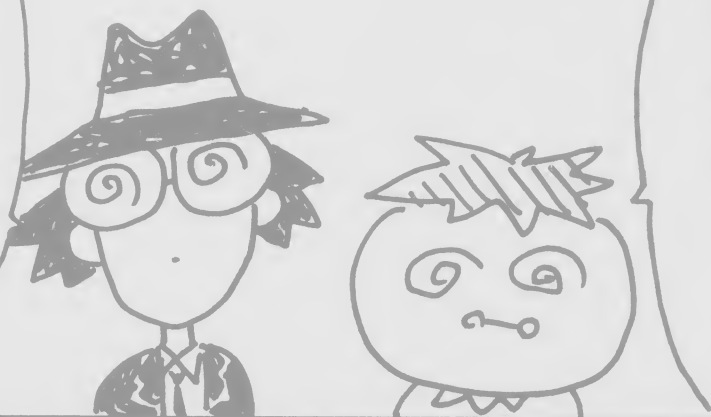
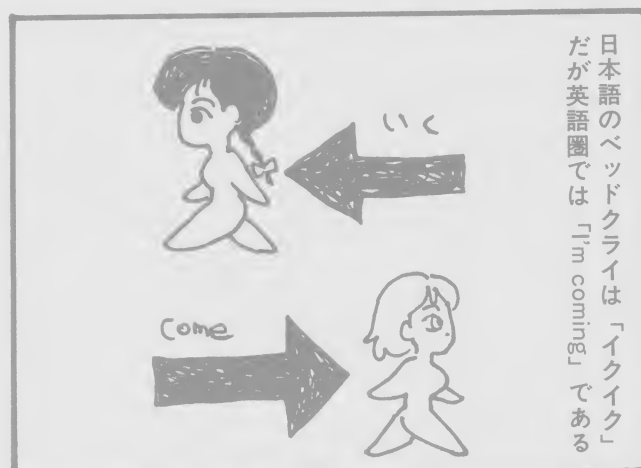
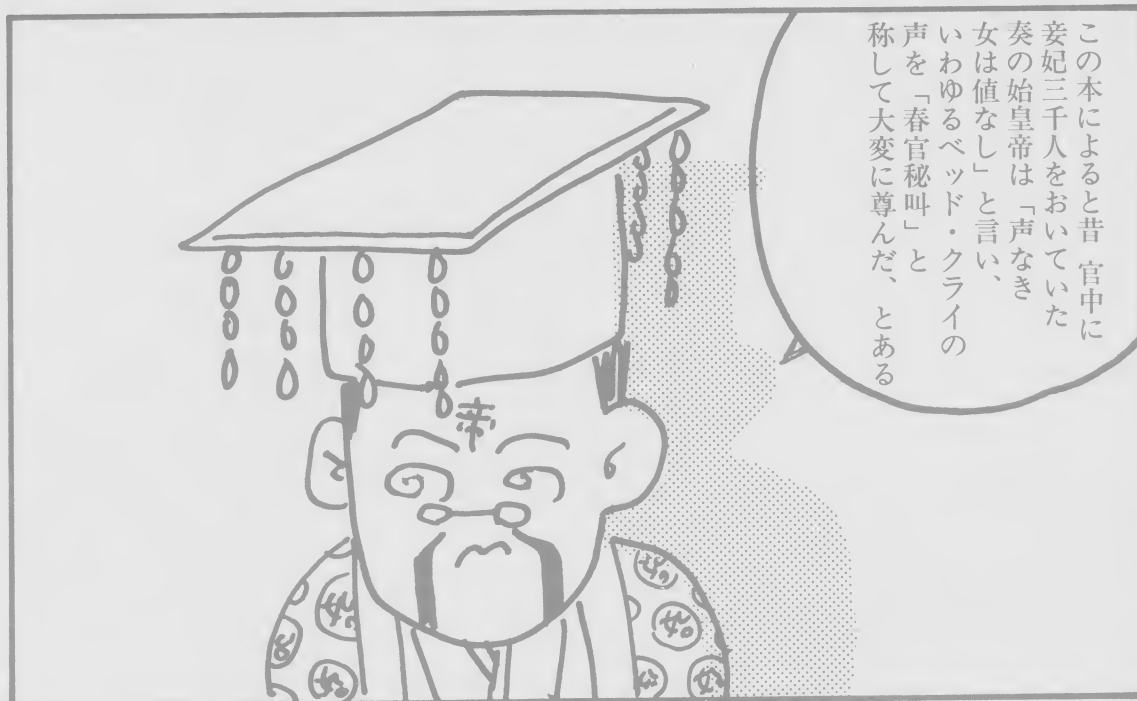
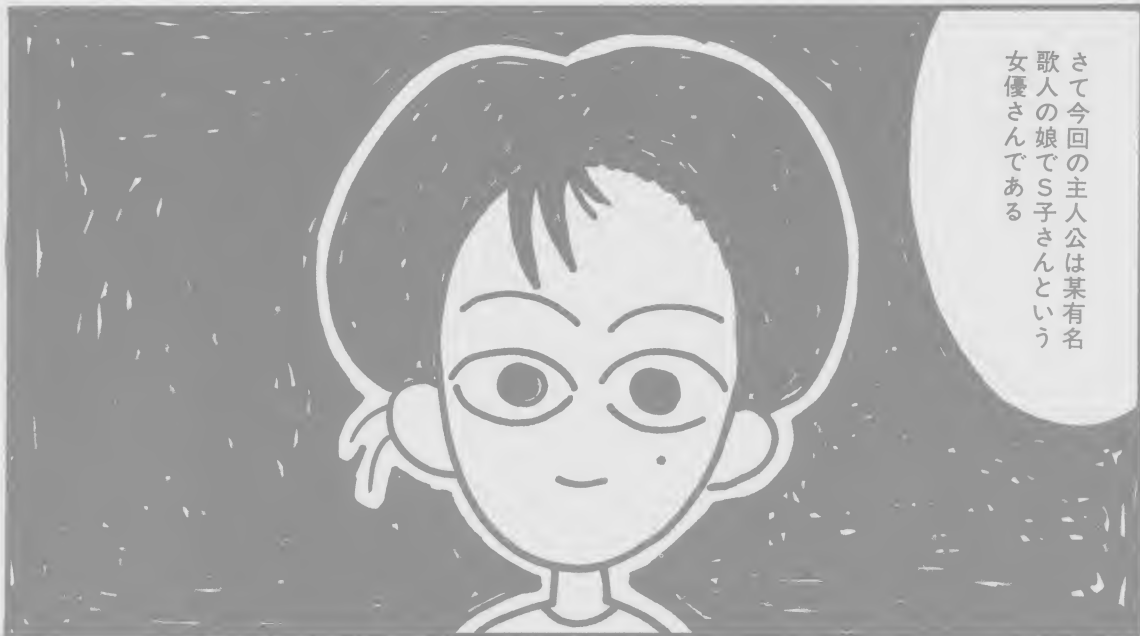
前回にひき続き
「花嫁歓泣初夜の体位と閨房術」
の紹介であります

今回あなたを待つ
難関はいかにして夫を飽き
させず喜ばせ続けるか、という
ことだ。—この本では「寝室で
悲鳴・歓声をあげる」ことを提唱
している。

この本によると昔 官中に
妾妃三千人をおいていた
奏の始皇帝は「声なき
女は値なし」と言い、
いわゆるベッド・クライの
声を「春官秘叫」と
称して大変に尊んだ、とある
帝

ベッドクライに関する
このテの一行知識を
いくつか
いちぞようちしも
マニア

日本語のベッドクライは「イクイク」
だが英語圏では「I'm coming」である
いく
come

江戸時代の一般的なベッドクライは
「死にます」
川柳に「死ぬ死ぬとわめいたあとに
また死のう」

中国では「好好(ハオハオ)、倒了(ファイラ)」と言う
ハオハオは「すばらしい」ファイラは
「こわれた、つぶれた」の意

「単なる言葉では喜びが少ないことを
考えて」（原文ママ）
「奇抜変態なる言葉を用いるよう
にした」（これも）

いろいろべんきょう
するS子さん

たとえば

神様ーッ

アーメン！

とか

S子さんはこれに味をしめて房事の前にも愛の言葉を活用され
ねえ私、栗の花の匂いがかぎたくなったわ
とか
え

今夜天国に連れて行ってよ
あなたん
でっへっへっ
とか　おっしゃる

時には舌を口の中で動かして
ぴち
ぴち
ぴち

ネエあなた今の音が何だか知ってる？
妙な音だね何だろう

あれは私の娘があなたを愛したいといって泣いてる音なのよう
んもう
娘か、こりゃあいいあっはっはっはっはっ

夫はS子さんの声の活躍によって毎晩大いに興奮しある夜などは「明けの鐘を聞くまで続けることができた」というから
イエスさまーッ
ぱらいそーっ
ふんふん
まあよかったことではある

あー気持ちいい
気持ちいい、気持ち
いいわぁーッ

あひあれ

なんだかアンマにでもかかって
いるみたいだね

キャオーーーッ

獣姦モノ。ニワトリの声。

〔以下次号〕